

# 小豆支部 活動報告

## 1 研究主題

主体的・対話的で深い学びを支える  
メディア教育の在り方

## 2 はじめに

昨年度より世界中で大流行しているコロナウイルス感染症予防対策のため、公立小・中学校では5月末まで臨時休業が続いた。この期間の生徒の学習を保障するため、日本中の学校において、さまざまな新しい取り組みがなされるようになった。県内においても、zoomをはじめとするWeb会議ツールを活用したオンライン授業を導入した学校も出てきた。教育におけるICTの活用は、もはや必然であると言っても過言ではない。ICTの利点を生かした教育活動を展開し、生徒の深い学びを支えていくため、授業における積極的なICTの活用を進めていくことにした。

## 3 研究計画

タブレットPCやコンピュータ等を活用した  
実技研修および情報交換

## 4 研究内容

### (1) 土庄町立土庄中学校

#### ① 教材提示装置としてのiPad利用

理科の授業では、動画教材の提示方法として、iPadと教室のTV（ディスプレイ）を使い、NHKの10min.ボックスやYouTubeの映像を、導入や実験しにくい現象の提示に活用している。生徒は、興味ある内容を短時間で見ることで、授業に集中しており、学習効果もあがっている。



文法解説の補助として活用  
(英語・土庄中)



プレゼンソフトで資料を提示  
(社会・土庄中)

また、英語の授業では、iPadと大型ディスプレイ

(65インチ)を接続し、本文の訳や文法解説の補助などを行っている。長文の学習においても、音声+大型ディスプレイに絵を提示することで、理解が深まるよう努めている。

さらに社会科の授業では、iPadと大型ディスプレイ(65インチ)を接続し、資料の提示を行っている。プレゼンテーションソフトを利用しているので、作成に時間はかかるが、グラフや絵画等に動きを加えることができ、理解を助けることにつながっていると思われる。

#### ② ノートPCを活用したデータの解析

理科の落下運動の学習の際、落下運動のデータをノートPCに入力し、グラフ化した。このことにより、考察をする時間を十分に確保できるようになり、TVに映し出した情報を共有しながら、考察を深めることもできた。



実験データの解析に活用  
(理科・土庄中)

#### ③ Wi-Fi環境の整備

令和2年11月に校内のWi-Fiのアクセスポイントが整備され、快適にインターネットが接続できるようになった。近い将来、iPadが生徒1人1台配布されることを見越して工事が行われた。

### (2) 土庄町立豊島中学校

#### ① 主体的な課題解決のためのツールとしての活用

中2社会科「中国・四国地方」の単元において、「なぜ瀬戸内国際芸術祭に多くの観光客が集まるのか」を学習課題にして授業を行った。社会科という教科では、多面的・多角的に思考することが求められるため、学習に多くの資料が必要であるが、ICTを利用すれば、カラーで拡大自由な資料を多数配布することが可能である。机上が資



iPadで資料を見ながら活動  
(社会・豊島中)

料やワークシート、教科書などではないになり生徒が混乱することもないので、新聞記事やオリジナル



iPad で資料を見ながら活動  
(社会・豊島中)

資料を配布し、自分の予想を検証するのに必要な資料を探すといった生徒の主体的な活動を取り入れることが容易となり、生徒それぞれの考えを生かしながら学習をすすめることができる。

オリジナル資料については、色使いやフォントの工夫によって教師が注目してもらいたいところに生徒の意識を向かわせることができるため、学びの焦点化につながると考えている。



オリジナル資料をカラーで作成  
(社会・豊島中)

### (3) 小豆島町立小豆島中学校 ① 授業におけるICT活用

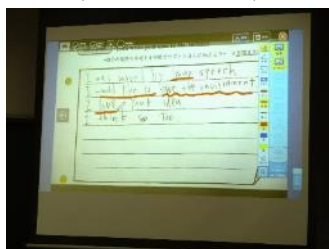


自作教材で retell 活動  
(英語・小豆島中)

2年英語の授業では、学習した本文を再話する retell という表現活動を行う際に、写真や絵、キーワードを掲載した教師の自作教材をプロジェクターで提示した。また、活動の際の制限時間の提示のために、授業支援ソフトのタイマー機能を活用し、生徒の活動の活発にした。さらに、生徒のワークシートへの



タイマー機能で授業支援  
(英語・小豆島中)



表現した作文をその場で共有  
(英語・小豆島中)

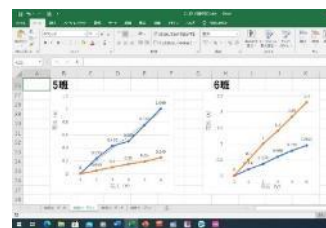
記述をタブレットPCのカメラ機能を用いて撮影し、その場で提示しながら評価することにも活用し、学習の振り返りに役立った。

2年理科の電流の性質の授業では、抵抗器の両端に加わる電圧と電流の関係について調べる際に、実験結果の数値を表計算ソフトに入力しグラフ化することにより、実験結果の考察を行いやすくさせた。他の班



実験の結果を表計算ソフトに入力  
(理科・小豆島中)

との結果を比較しながら考察することにより、同じ電圧を加えても、抵抗器によって電流の流れ方には違いがあることに気付かせることができた。



他の班と比較して考察  
(理科・小豆島中)

## 5 成果と課題

文部科学省が打ち出している「GIGAスクール構想」では、生徒1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備し、特別な支援を必要とする生徒を含め、多様な子どもたち一人一人の情報活用能力を育成することが求められている。小豆郡においても、今年度末には生徒1人1台のiPad及び通信ネットワークや授業支援システム等の整備が予定されている。これまでに研究、蓄積してきたICT活用のノウハウに加え、この新たなシステムを最大限に生かした取り組みが可能となる。

そこで各校においては、メディア教育担当教員が中心となり、新システムの効果的な運用方法や活用方法について探るとともに、すべての教科のすべての授業における活用を可能にするために、全職員に向けて十分な研修を実施していかなければならないと考える。また、機器の管理やメンテナンスについても計画的に実施し、常に良好な状態を維持していくことを頭に置いておかなければならない。